

2021年5月24日

各位

株式会社八十二銀行

iBank 事業参画に関する正式合意および資本業務提携について
～ スマートフォンアプリ『Wallet+』の提供を通じたデジタルマーケティング高度化 ～

株式会社八十二銀行（取締役頭取 湯本 昭一、以下：八十二銀行）は株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（取締役会長兼社長 柴戸 隆成、以下：FFG）傘下の iBank マーケティング株式会社（代表取締役社長 明石 俊彦、以下：iBank 社）と、iBank 事業への参画に関する正式合意および資本業務提携をいたしましたので、お知らせいたします。

このたびの合意により八十二銀行と iBank 社は、iBank 社が運営するスマートフォン専用アプリ『Wallet+』の導入に向けた共同開発に本格着手することとし、スピーディーなサービス実装を目指してまいります。また、『Wallet+』のサービス提供開始後も、協働してデジタルマーケティングの高度化に取り組んでまいります。

記

1. 『Wallet+』 八十二銀行の口座保有者向けサービス概要

(1) サービス開始時期：2022年夏（予定）

(2) サービスご利用イメージ

アプリをダウンロード後、利用銀行を選択することで、八十二銀行の金融系機能がご利用頂けます。

① アプリダウンロード



② アプリトップ



③ 銀行選択



(3) サービス・機能の概要

八十二銀行での『Wallet+』展開にあたっては、来夏時点までにリリースされている最新バージョンの機能を実装し、これまでにない新しい金融サービスの利用体験をご提供してまいります。

【サービス機能イメージ】

（※）下記は現時点でのサービスイメージを掲載しています。



2. 本提携（正式合意）の主な内容

(1) iBank 事業への参画および業務提携の内容

- ① iBank 社が運営するスマートフォンアプリ Wallet+の利用
- ② iBank 事業領域の拡大およびマーケティングの高度化

(2) 資本業務提携の内容

- ① 八十二銀行が、iBank 社の株式の一定割合を取得する予定です。払込時期については、2021 年度中を予定しております。
- ② iBank 事業に資する人材交流およびその他関連する業務における提携

iBank事業の概要



『iBank』は、スマホ／モバイルファースト時代に即した新しい顧客体験・価値を提供することを目的に、金融と非金融、日常と非日常をシームレスに繋ぐマネーサービスとして、参画銀行と iBank 社が共同で展開する事業ブランドの総称です。

『iBank』では、3つのプラットフォームにより、さまざまな業界・業種の事業パートナー（異業種）との連携を進めることで、個人のお客さまには、金融と非金融が融合した新しい体験（例えば、お客さまの預金目的や趣味嗜好に応じた、最適な情報やクーポンを最適なタイミングでお届けする等）を、法人のお客さまには、これまでにないデジタルマーケティングの機会等の提供を目指しています。

(3) 資本業務提携の当事会社の概要

① 株式会社八十二銀行の概要

- | | |
|------------|-------------------------|
| i. 商号 | 株式会社八十二銀行 |
| ii. 所在地 | 長野県長野市大字中御所字岡田 178 番地 8 |
| iii. 代表者氏名 | 湯本 昭一 |
| iv. 事業内容 | 銀行業 |
| v. 設立 | 1931 年 8 月 |
| vi. 資本金 | 522 億円 |

② iBank マーケティング株式会社の概要

- | | |
|------------|--------------------------|
| i. 商号 | iBank マーケティング株式会社 |
| ii. 所在地 | 福岡県福岡市中央区西中洲 6 番 27 号 |
| iii. 代表者氏名 | 明石 俊彦 |
| iv. 事業内容 | 情報処理および情報通信サービス業 |
| v. 設立 | 2016 年 4 月 |
| vi. 資本金 | 24 億 16 百万円（資本準備金含む） |
| vii. 主要株主 | 株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ |

3. 今後の見通し

本件による八十二銀行の連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上